

フロイント産業株式会社
「経済産業省認定GNT企業」

JASDAQ
(証券コード 6312)

2021年2月期 第2四半期
決算説明資料

2020年10月21日

 **FREUND**

目次

- 2021年2月期 第2四半期 連結決算概況 . . . P.02
- 2021年2月期 連結業績・配当予想 . . . P.15

- 中期経営計画 . . . P.19

- <参考資料> . . . P.23
- <Factsheet> . . . 別紙

2021年2月期 第2四半期
連結決算概況



連結決算サマリ

- 連結売上高は前年同期比3.3%の増収
- 連結営業利益は前年同期比247百万円増益
- 機械受注は前年同期比26.3%の増加
- 設備投資・研究開発費は前年同期比減少

(単位：百万円)

	2020/2月期 上半期	2021/2月期 上半期	前年同期比増減	
	実績	実績	金額	%
売上高	6,817	7,043	+226	+3.3%
営業利益	3	251	+247	-
経常利益	6	271	+265	-
当期純利益	△7	183	+191	-
一株純利益 (円)	△0.46	10.98	+11.44	-
機械受注高	5,311	6,705	+1,394	+26.3%
機械受注残高	6,846	7,330	+483	+7.1%
設備投資	453	171	△281	△62.2%
減価償却費	177	196	+19	+10.8%
研究開発費	408	267	△140	△34.5%
ROA	△0.0%	1.0%	-	-
ROE	△0.1%	1.4%	-	-

機械部門：概況

● 分野別売上高

- 医薬品関連：ポストGE 80%後のGEメーカーの設備需要は引き続き不透明
前期の上期低迷・下期偏重の反動により3.0%増収
- 産業関連：1Qの低迷を2Qで補い10.0%増収

● 分野別受注

- 医薬品関連：顧客ニーズを捉えた営業活動と大口受注により34.2%増加
- 産業関連：需要環境弱く苦戦中

(単位：百万円)

	2020/2月期 上半期		2021/2月期 上半期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
売上高	3,964	△ 35.5	4,125	+4.1
医薬品関連	3,342	△ 35.3	3,441	+3.0
産業関連	621	△ 36.7	683	+10.0
営業利益	△ 119	△ 141.2	255	-
受注高	5,311	△ 18.5	6,705	+26.3
医薬品関連	4,368	△ 20.8	5,863	+34.2
産業関連	942	△ 6.1	842	△ 10.6
受注残高	6,846	+9.8	7,330	+7.1
医薬品関連	6,067	+13.3	6,578	+8.4
産業関連	779	△ 11.4	752	△ 3.5
為替 (円/ドル：+は円安)	109.2	△0.1円/ドル	107.2	△2.0円/ドル

機械部門：グループ会社別動向

- 単体 : 輸出案件の売上期ズレはあるも国内売上はほぼ計画通り
- FREUND-VECTOR社 : コロナ禍や暴風雨災害の影響により減収となるも
米国政府によるコロナ対策の補助金（約2.1百万ドル）により増益
- フロイント・ターボ社 : 売上は2Qで挽回するも受注は底入れに至らず

(単位：百万円)

	2020/2月期 上半期		2021/2月期 上半期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
売上高	3,964	△35.5	4,125	+4.1
単体 ※	2,411	△43.4	2,838	+17.7
FREUND-VECTOR社 ※	1,212	△7.0	1,018	△16.0
フロイント・ターボ社 ※	525	△35.7	629	+19.8
営業利益	△ 119	△141.2	255	-
単体	94	△80.2	228	-
FREUND-VECTOR社	△ 144	+5.5	30	-
フロイント・ターボ社	△ 69	+41.6	△ 3	-
受注高	5,311	△18.5	6,705	+26.3
単体	2,828	△21.3	4,156	+47.0
FREUND-VECTOR社	1,758	△19.7	2,019	+14.8
フロイント・ターボ社	724	△1.7	529	△26.9
受注残高	6,846	+9.8	7,330	+7.1
単体	4,427	+27.8	5,228	+18.1
FREUND-VECTOR社	1,791	△16.6	1,685	△5.9
フロイント・ターボ社	627	+0.8	415	△33.7

※ 連結消去前

機械部門：地域別動向

- 日本 : 国内向けはほぼ計画通り
- 北米・南米 : コロナ禍によりブラジル・米国向けが低調
- 欧州・アフリカ : 前期比微減
- 中東・アジア・大洋州 : 中国・中東向けが増加

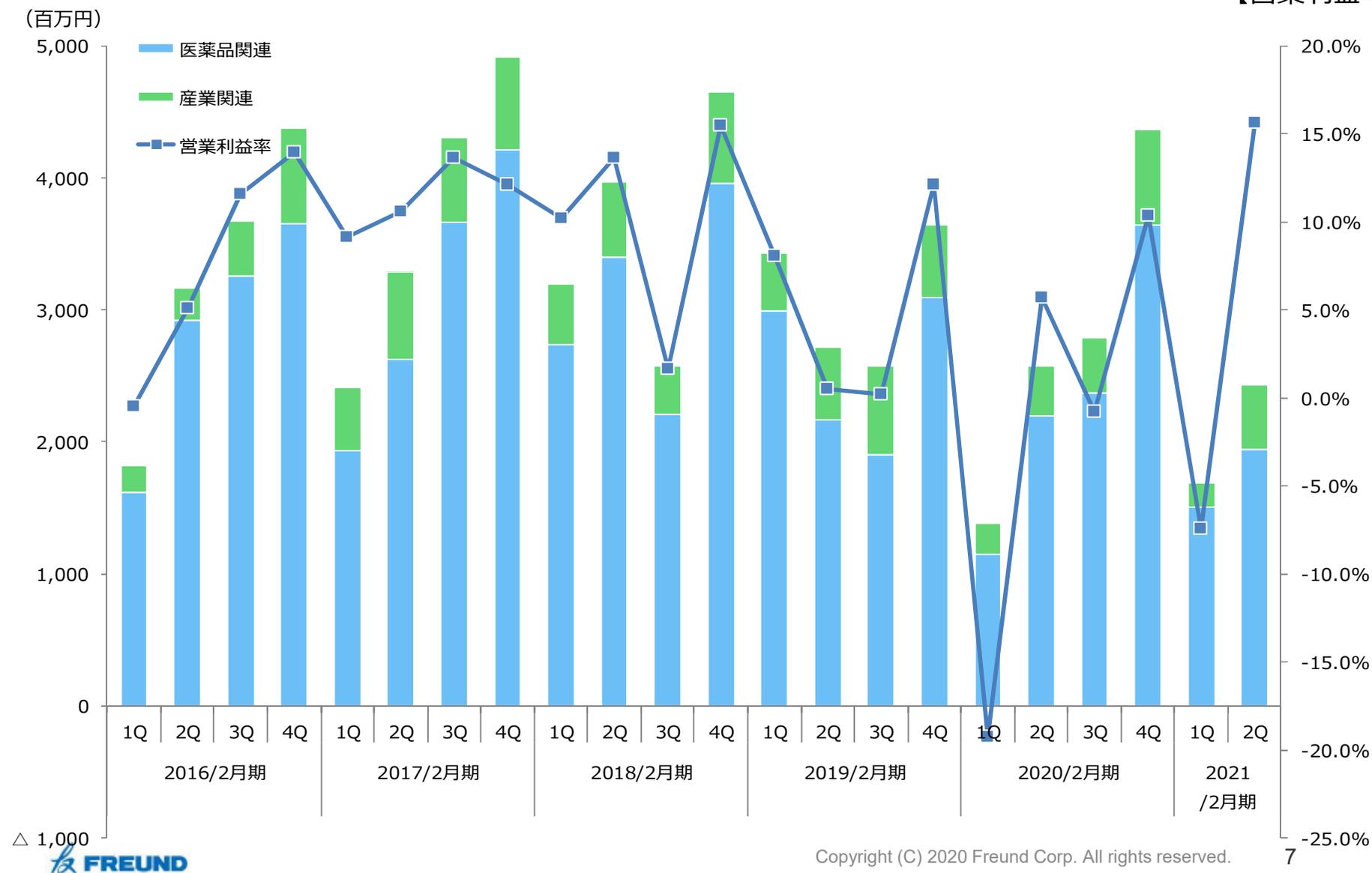
(単位：百万円)

	2020/2月期 上半期		2021/2月期 上半期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
売上高	3,964	△35.5%	4,125	+4.1%
日本	2,557	△41.2%	2,989	+16.9%
海外	1,407	△21.5%	1,136	△19.3%
北米・南米	1,005	△0.2%	553	△45.0%
欧州・アフリカ	150	+6.2%	139	△7.4%
中東・アジア・大洋州	251	△61.0%	443	+76.8%

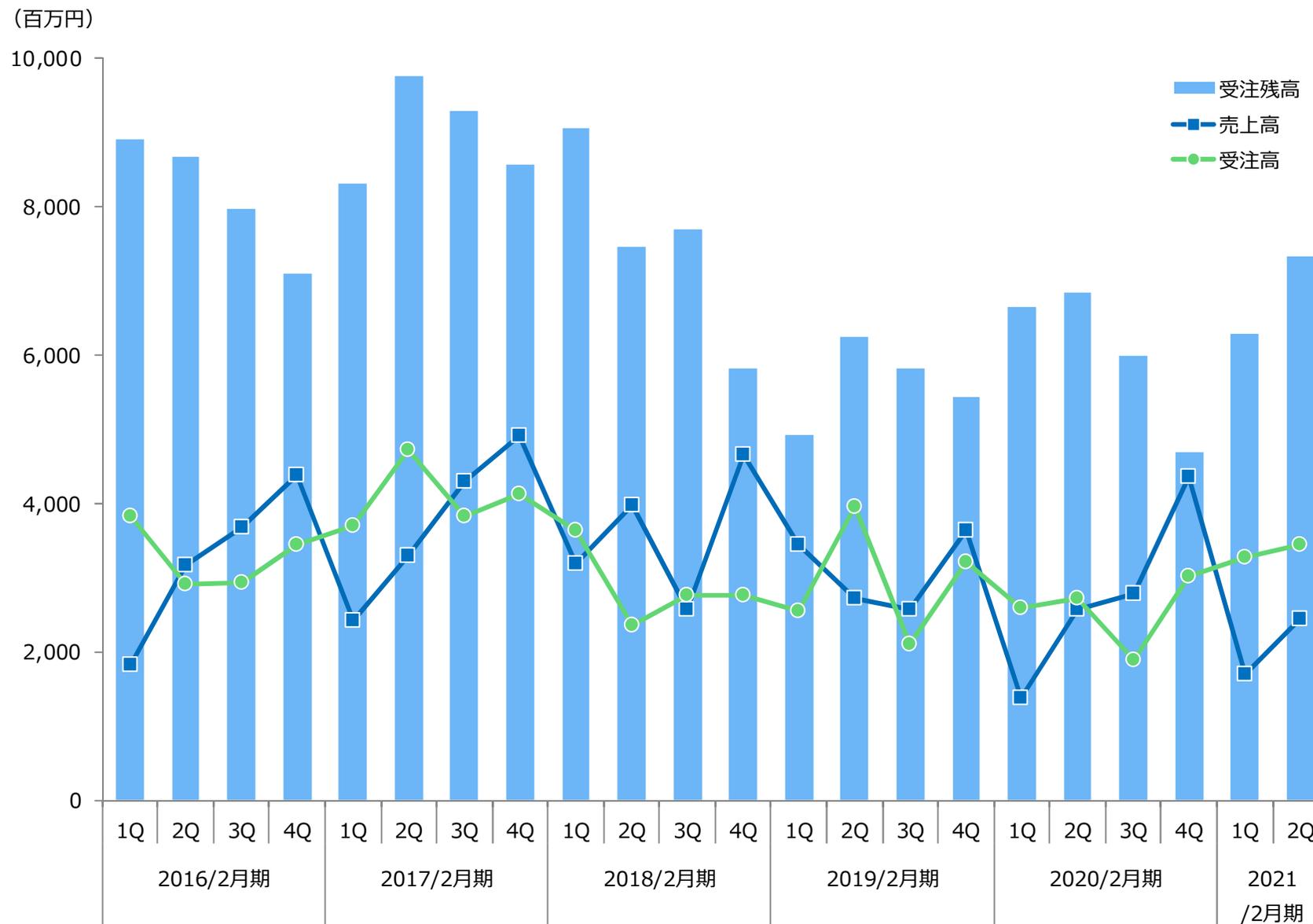
機械部門：四半期売上推移（分野別業績）

【売上高】

【営業利益率】



機械部門：四半期推移（売上高・受注高・受注残高）



化成品部門：概況

● 売上高

- 医薬品添加剤 : 一部の製品の納入時期が3Qへずれ込み微減
- 食品品質保持剤 : コロナ禍によるお菓子の売上低迷の影響で減収
- 健康食品 : ユーザーの在庫積み増し需要により大幅増収
- 輸出 : 海外販売の裾野拡大中

● セグメント利益

- 利益率の低い製品の販売増加により、営業利益は減益

(単位：百万円)

	2020/2月期 上半期		2021/2月期 上半期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
売上高	2,852	△4.0	2,917	+2.3
医薬品添加剤	1,442	△10.1	1,409	△2.3
食品品質保持剤	1,039	△3.7	863	△16.9
健康食品	370	+28.9	644	+73.8
(輸出売上高) ※ 1	80	△65.4	104	+29.5
営業利益	382	△31.3	228	△40.2

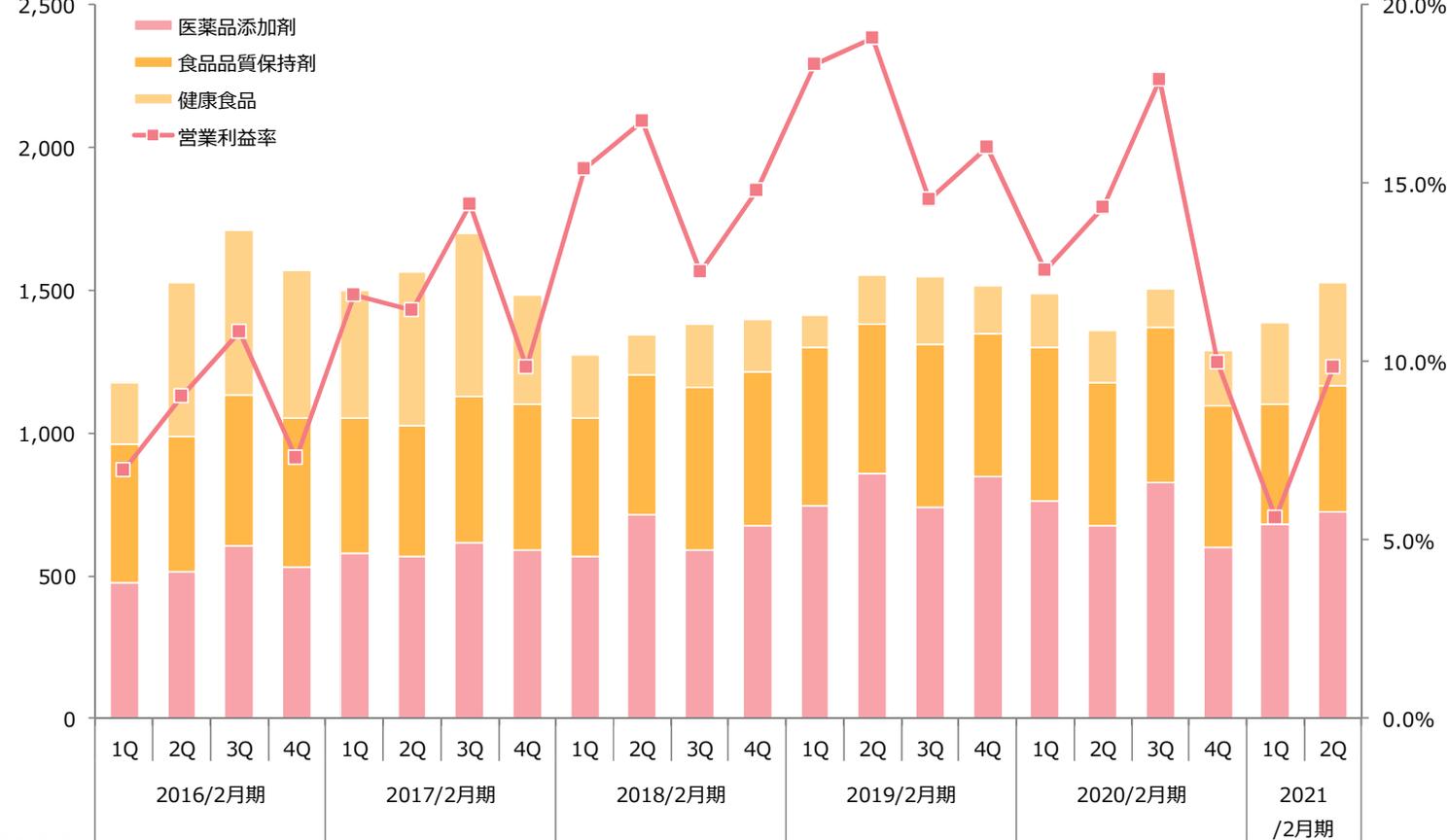
※ 1 主な輸出先：インド・韓国・中国・台湾 等

化成品部門：四半期売上推移（分野別）

- 医薬品添加剤は堅調
- 食品品質保持剤は、コロナ禍によるお菓子需要の低迷により減収
- 健康食品は、ユーザーの在庫積み増し需要により好調

【売上高】

(百万円)



【営業利益率】

連結損益計算書サマリ

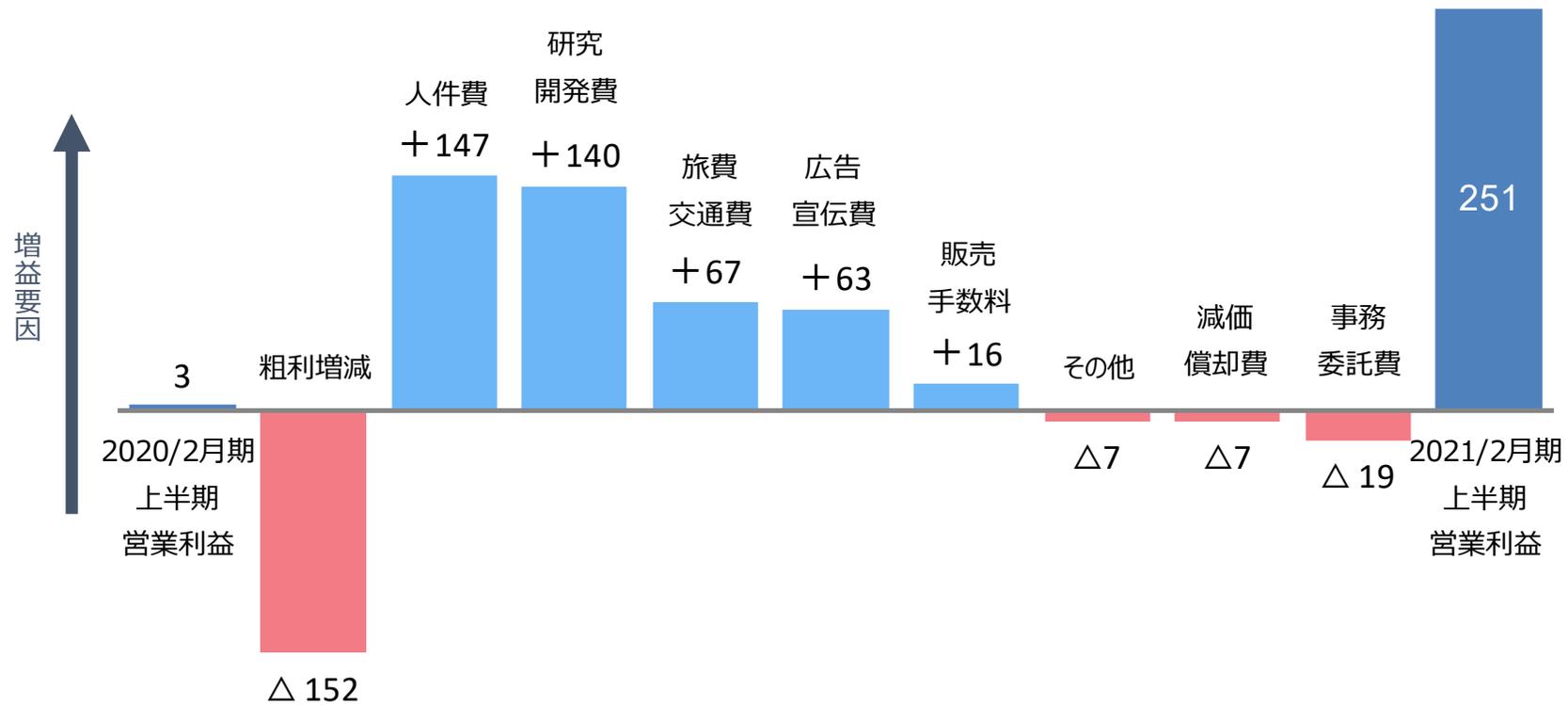
(単位：百万円)

	2020/2月期 上半期		2021/2月期 上半期		前期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
売上高	6,817	100.0%	7,043	100.0%	+226	+3.3%
売上原価	4,400	64.6%	4,779	67.9%	+379	+8.6%
売上総利益	2,416	35.4%	2,263	32.1%	△152	△6.3%
販管費	2,413	35.4%	2,012	28.6%	△400	△16.6%
営業利益	3	0.0%	251	3.6%	+247	-
営業外損益	2	0.0%	20	0.3%	+17	-
経常利益	6	0.1%	271	3.9%	+265	-
特別損益	11	0.2%	△4	△0.1%	△16	-
税引前利益	17	0.3%	266	3.8%	+249	-
当期純利益	△7	△0.1%	183	2.6%	+191	-

連結営業利益増減分析

- 粗利益の減少をコスト削減でカバーし営業利益増益
- FREUND-VECTOR社において米国政府のコロナ対策補助金受け取り要因あり

(単位：百万円)



連結貸借対照表サマリ

(単位：百万円)

	2020/2月期末	2021/2月期 上半期	増減額
流動資産	13,193	12,325	△868
現金及び預金	4,314	4,743	+429
売上債権	5,431	4,193	△1,237
棚卸資産	3,051	3,056	+5
固定資産	5,311	5,200	△111
有形固定資産	4,209	4,094	△115
無形固定資産	96	90	△5
投資その他資産	1006	1,015	+9
資産合計	18,505	17,525	△979
流動負債	5,023	4,281	△742
仕入債務	3,121	1,866	△1,255
前受金	775	1,286	+511
固定負債	237	246	+9
退職給付に係る負債	165	161	△3
負債合計	5,261	4,528	△733
純資産合計	13,243	12,997	△246

連結キャッシュ・フロー計算書サマリ

(単位：百万円)

	2020/2月期 上半期	2021/2月期 上半期
営業キャッシュ・フロー	289	977
税引前利益	17	266
減価償却費	177	196
売上債権の増減額（△は増加）	513	1,211
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 1,028	△ 50
前受金の増減額（△は減少）	783	529
仕入債務の増減額（△は減少）	170	△ 1,192
法人税等の支払額	△ 132	△ 46
投資キャッシュ・フロー	△ 414	△ 171
有形固定資産の取得による支出	△ 440	△ 206
財務キャッシュ・フロー	△ 359	△ 366
リース債務の返済による支出	△ 1	△ 1
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	△ 25	-
配当金の支払額	△ 332	△ 333
現金及び現金同等物 増減額	△ 503	429
現金及び現金同等物 期末残高	5,030	4,743

2021年2月期
連結業績・配当予想



連結業績予想サマリ

- 受注獲得活動強化によるトップラインの拡大
- 原価、販売管理費等コスト削減による利益極大化
- 以上により、期初ガイダンスの達成を目指す

(単位：百万円/円)

	2020/2月期 (実績)	2021/2月期 (予想)	前期比増減	
			金額	%
売上高	16,772	17,800	+1,027	+6.1
営業利益	558	1,000	+441	+79.1
経常利益	582	1,000	+417	+71.6
純利益	381	700	+318	+83.5
一株純利益	22.79	41.80	+19.01	+83.4
為替(円/ドル：+は円高)	109.03	105.00	-	-
設備投資	951	-	-	-
減価償却費	386	-	-	-
研究開発費	725	-	-	-

部門別業績予想サマリ

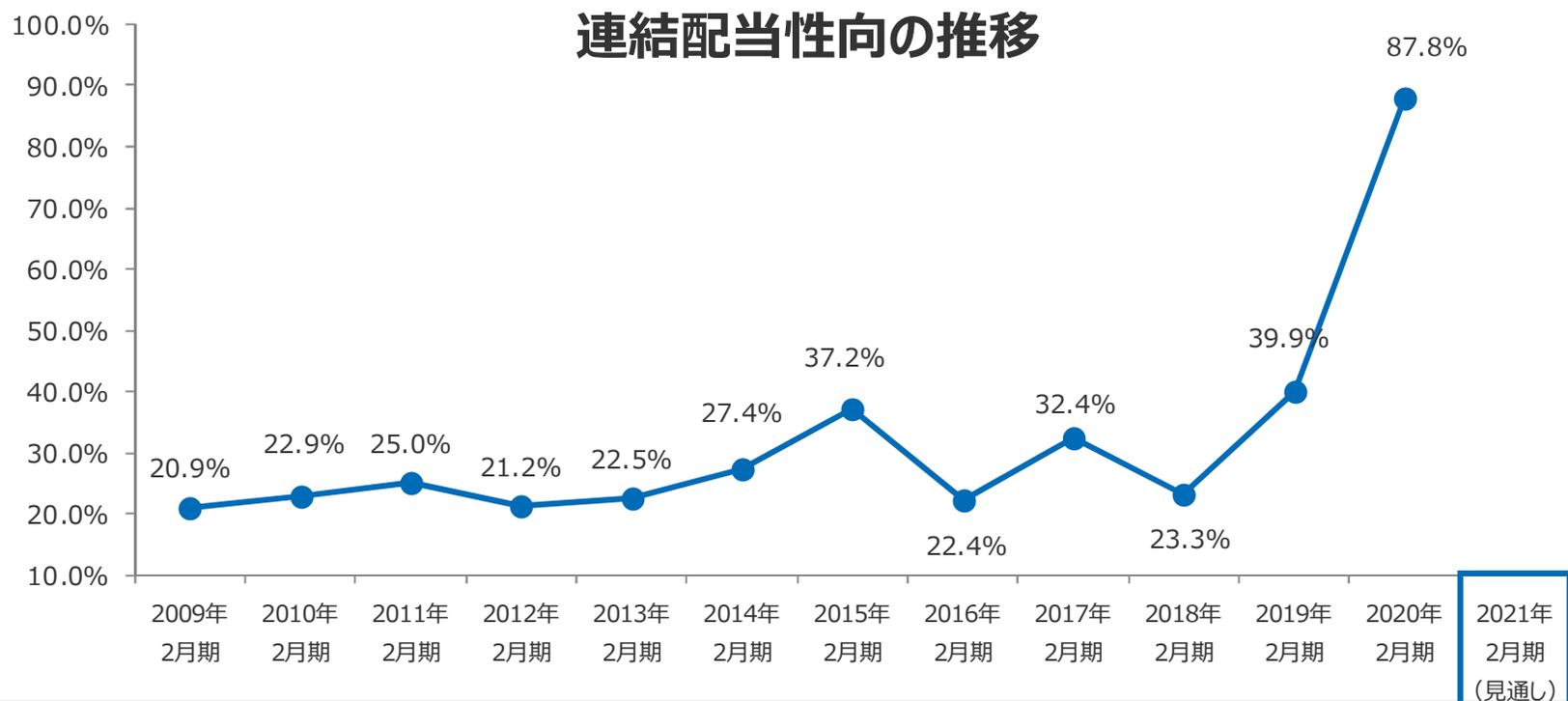
- 機械部門 : 受注精度の向上、メンテナンスビジネス拡大、海外拡販に注力
- 化成品部門 : 医薬品添加剤の国内拡販および海外向け新規案件の獲得

(単位：百万円)

	2020/2月期		2021/2月期 (予想)		前期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
連結売上高	16,772	100.0	17,800	100.0	+1,027	+6.1
機械部門	11,118	66.3	12,000	67.4	+881	+7.9
化成品部門	5,654	33.7	5,800	32.6	+145	+2.6
セグメント利益	558	100.0	1,000	100.0	+441	+79.1
機械部門	311	55.7	-	-	-	-
化成品部門	781	140.0	-	-	-	-
全社、消去	△ 534	△ 95.7	-	-	-	-
為替(円/ドル：+は円高)	109.03	-	105.00	-	-	-

配当予想サマリ

- 2021年2月期の配当金、連結配当性向は現時点で未定とさせていただきます



当期純利益 (百万円)	619	563	516	608	765	787	695	961	1,064	1,477	843	381	-
1株当たり配当金 (円)	7.5	7.5	7.5	7.5	10.0	12.5	15.0	12.5	20.0	20.0	20.0	20.0	-
発行済株式総数 (千株)	4,600	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	18,400	18,400	18,400	18,400	-

(注) 2009年6月1日付け及び2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、2016年2月期以前の配当金は分割調整後の金額です。

第8次中期経営計画



Copyright(C) 2019 Freund Corp. All rights reserved.



第8次中期経営計画

企業理念

創造力で未来を拓く

経営ビジョン

フロイントグループは、
「世界中の人々の医療と健康の未来に貢献し、
豊かな生活・食の安全・安心を支える技術を生み出し、育成していくことを目指します」

大切にする価値

ONE
FREUND



特別な価値創造

それぞれの分野、事業で
No.1を目指す



完全顧客視点

顧客、社会にとって
Only Oneの存在を目指す



ネットワーキング

グループがひとつになる

基本戦略

顧客の真のニーズに技術力をもって応え、
持続的に利益成長する経営構造の実現を目指す

7つの経営目標

1. グループの連携
2. 完全顧客視点
3. イノベーション重視
4. グローバル経営
5. 成長戦略の実行
6. 業務改革と働き方改革の推進
7. コンプライアンス・コーポレートガバナンスの重視

第8次中期経営計画：7つの経営目標

1. グループの連携

グループ3社が一体組織としての意識を持ち、営業・開発で業務連携し、連結業績目標を達成する

2. 完全顧客視点

すべての面で最高の品質の製品を、お客様に満足できる価格とスピードをもって提供する

3. イノベーション重視

開発特化型企业として新製品開発に重点的に資源を投下するとともに開発計画の進捗管理を徹底する

4. グローバル経営

国内のシェアを高めつつ、顧客の海外市場シフトと海外市場の質重視のトレンドにグループ一体で対応する

5. 成長戦略の実行

M&A、事業アライアンス等により次の中計の基盤となる新事業の開拓、既存事業の非Organicな強化を図る

6. 業務改革と働き方改革の推進

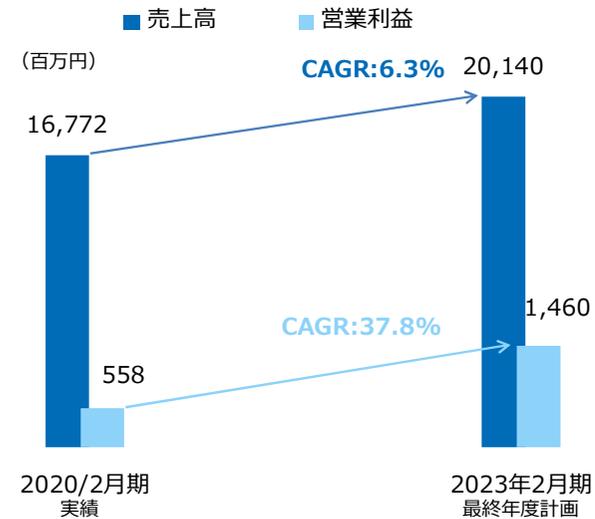
非効率な仕事を排除し、働きやすい職場と高効率な企業体質を実現する

7. コンプライアンス・コーポレートガバナンスの重視

生産・品質管理体制の向上、内部統制の充実を図り、顧客や社会の信頼に応える健全な事業体制整備を進める

第8次中期経営計画：数値計画

- グループ子会社と一体となった業務運営
- ユーザー視点の顧客満足度向上
- イノベーティブな製品開発
- グローバルでの事業拡大



(単位：百万円)

	2021年 2月期	2022年 2月期	2023年 2月期
売上高	17,800	19,050	20,140
単体	12,680	13,240	14,070
FREUND-VECTOR社	4,040	4,560	4,720
フロイント・ターボ社	1,800	1,900	2,000
営業利益	1,000	1,220	1,460
単体	850	900	1,050
FREUND-VECTOR社	70	150	220
フロイント・ターボ社	100	130	160

(参考資料)

- ・ プロフィール
- ・ セグメント情報

プロフィール

- 社名 : フロイント産業株式会社
 - 設立 : 1964年4月
 - 代表者 : 代表取締役社長 伏島 巖
 - 所在地 : 東京都新宿区西新宿六丁目25番13号
 - 資本金 : 10億3,560万円 (2020年8月末現在)
 - 売上高 : 167億円 (2020年2月期 : 連結)
 - 従業員 : 384名 (2020年8月末現在 : 連結)
 - 事業内容 : 機械事業 …… 造粒・コーティング装置等の製造販売
化成品事業 …… 医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
 - グループ会社 : FREUND-VECTOR CORPORATION
フロイント・ターボ株式会社
Parle Freund Machinery Private Limited
-

フロイントグループ各社と R & D 拠点

フロイント産業
株式会社

フロイント・ターボ
株式会社

FREUND-VECTOR
CORPORATION

神奈川県横須賀市

米国/アイオワ州

独創的技術での
グローバル化を
積極的に推進



技術開発研究所 (静岡県浜松市)



マリオン・ラボ (米国/アイオワ州)



ミラノ・ラボ (イタリア)

国内ユーザー

機械装置/
化成品の販売

海外ユーザー

機械装置/
化成品の販売

ParleFreund (インド)

ビジネスモデルの特徴は「Pen」と「Ink」

1. 機械部門



Pen

- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに造粒、コーティング装置などを製造・販売
- コーティング装置の国内販売シェアはトップ
アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速
世界で製剤技術と機械装置を唯一共有する
- 造粒・コーティング技術に粉碎・分級技術を融合させることで産業向け装置の拡販も注力

2. 化成品部門

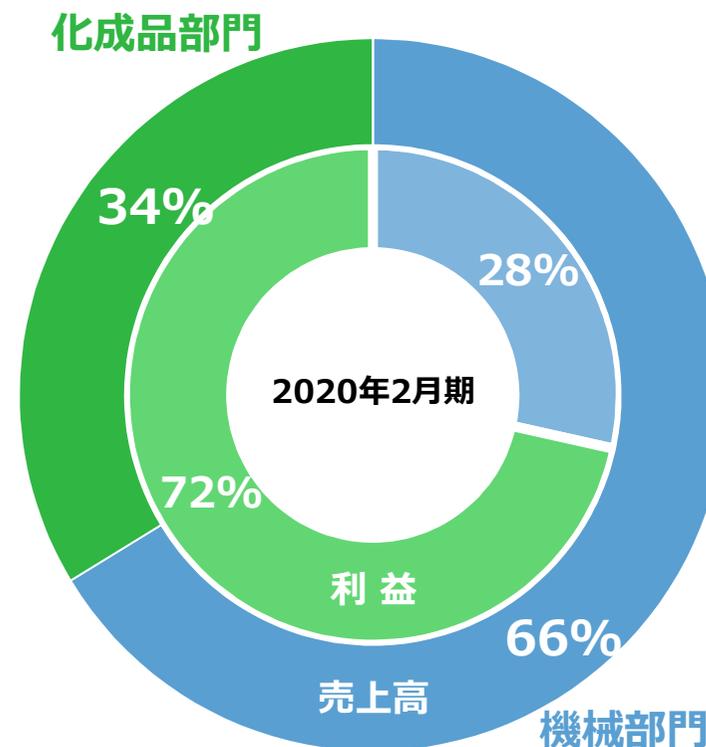


Ink

- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売
- 医薬品添加剤は、GMP※1対応設備で生産
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化

※1 GMP : Good Manufacturing Practice

セグメント別 売上高及び利益構成



連結売上高 167.7 億円

連結営業利益 5.5 億円

グループのビジネスフィールド

- 医薬品の製造工程に基づくフロイントグループの事業領域



フロントグループ ディスクロージャーポリシー

1. 情報開示の基本方針

当社は、広く社会に信頼される企業として、経営の透明性向上を重要な責務のひとつと考えています。その考えに基づき、すべてのステークホルダーの皆さまに、会社情報の公平かつ適時適正な開示を継続的に行います。

2. 情報開示の基準

当社は、会社法、金融商品取引法などの関係法令および当社が上場する証券取引所が定める適時開示に関する諸規則にしたがって、情報開示を行います。

当社は、関係法令および適時開示に関する諸規則に該当しない情報であっても、株主・投資家の皆さまの投資判断にとって必要であると考えられる情報については、積極的に開示いたします。

3. 情報開示の方法

当社は、東京証券取引所の提供する適時開示情報伝達システム（Timely Disclosure network、以下「TDnet」という）を通じて情報を開示いたします。TDnetにより開示した情報は、情報開示の適時性・公平性に配慮し、速やかに当社のインターネットホームページに掲載いたします。

そのほかの情報についても、適時開示の趣旨に則り、プレスリリース、当社のインターネットホームページへの掲載などにより公平かつ迅速に開示いたします。より多くのステークホルダーの皆さまに分かりやすい開示を行うため、開示情報は日本語とあわせ、その英訳の開示に努めます。

4. インサイダー取引の未然防止

当社は、内部情報の適切な管理および株式などの売買などについて遵守すべき基本事項を社内規則に定め、インサイダー取引規制の周知徹底と株式などの売買管理体制の適切な運用により、インサイダー取引を未然に防止します。

5. 沈黙期間

当社は、決算情報の漏洩を防止し、法令遵守および公平性を確保するため、各四半期決算期日の翌日から当該決算発表日までを「沈黙期間」と定めます。当該期間中は、決算に関連するコメントや質問・照会に対する回答は差し控えさせていただきます。ただし、業績が予想と大きく乖離する可能性がある場合には、適時開示に関する諸規則に従い適時適正に開示いたします。

6. 将来予測について

当社が開示する情報の中には、業績予想以外にも戦略、事業計画などの将来予測に関する情報が含まれておりますが、これらの情報は作成段階において入手可能な情報をもとに判断したものであり、その後の経済情勢や市場環境の変化などによって、将来予測は大きく異なる可能性があります。

(2017年3月27日制定)

I R活動の方針

当社は、2017年3月27日に取締役会で決定された以下の方針に基づきIR活動を実施しています。

株主・投資家との建設的な対話に関する方針

当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をめざし、株主・投資家の皆様との建設的な対話を積極的に進めます。当社の経営方針や経営状況、企業文化をわかりやすく説明し、株主・投資家の皆様のご理解を得て、「FREUNDファン」として継続的にご支援いただけるように努めます。

1. 推進体制株主・投資家の皆様との対話

取締役CFOが統括し、IR担当部署の経営企画本部が担います。

株主の皆様との対話を促進するため、社内の関連部門は、開示資料の作成・審査や必要な情報の共有など、積極的に連携を図り、公正且つ迅速に情報開示を行います。

2. ステークホルダーとの対話

当社は期末及び第2四半期の決算説明会（第1・3四半期はスモールミーティング）を実施し、その情報は当社ウェブサイト公開します。また、中長期経営計画を策定した際には、経営戦略や経営計画についてわかりやすく説明いたします。さらに、機関投資家への訪問も積極的に実施し、経営方針や業績の説明を行います。また、証券会社主催の投資家フォーラムや個人投資家説明会等にも参加します。

株主通信やFREUND Report（統合報告書）の発行、ウェブサイト専用ページ（<http://www.freund.co.jp/ir/>）の開設などにより、事業や財務情報とともに財務諸表に載らない資産（見えない資産）を紹介することで当社グループの企業価値を正しくご理解いただけるように、情報開示の充実に努めます。

3. 株主・投資家からの意見を社内へフィードバックする仕組み

株主・投資家の皆様との対話において把握された意見は、社長、取締役や関係各部に適宜報告し、情報を共有します。

4. インサイダー情報の管理

各四半期の決算期末日より決算発表日までの期間はサイレント（沈黙）期間とし、投資家の皆様との対話を制限しています。インサイダー情報については、社内の内部情報管理・内部者取引規制に関する規程に従い、情報管理の徹底を図っています。

〈お問い合わせ先〉
フロイント産業株式会社
経営企画本部 経営企画部・経理部

TEL:03-6890-0767
FAX:03-6890-0870
E-Mail : ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <http://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。